

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

JFEスチール株式会社 西日本製鉄所(福山地区)

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

2211 高炉による製鉄業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 25 (2013) 年度を基準年度とし、令和 7 (2025) 年度から令和 9 (2027) 年度までの 3 年間とする。

3 計画の基本的な方向

<理 念>

J F E スチール(株)西日本製鉄所は、地球環境の向上を経営の重要課題と位置付け、社会と調和した事業活動を推進することにより、豊かな社会作りを目指します。

<方 針>

西日本製鉄所福山地区は、瀬戸内海国立公園内に位置するという立地条件を考慮し、自然環境・地域との融和をめざした企業活動を推進します。

1. 事業活動における環境影響を認識し、地域の皆様に実感いただける環境改善活動を積極的に推進します。
2. 環境関連の法律、条例、協定及びその他の環境上の取り決め事項を順守するとともに、省エネルギー、省資源、リサイクルを含む環境汚染の予防に努めます。
3. 事業プロセスにおける環境パフォーマンスの向上を図ることで環境負荷の低減を行い、地球環境保護に積極的に取り組みます。
4. 全従業員に環境教育を実施し、環境意識の向上に努めます。
5. 環境調和型製品の開発・提供により、持続可能な社会の実現に貢献します。
6. 環境保全体制強化のため、繰返しの訓練により継続的な技能伝承を図り、ライン自律型環境管理を推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 25（2013）年度	令和 6（2024）年度
二酸化炭素	20,961,469	19,690,042

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素	-	-

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン	-	-
一酸化二窒素	-	-
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	-	-

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 9 (2027) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	20,961,469	0.7	150,000	20,811,469
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	福山地区の省エネ計画に基づき設定します。JFEスチール全社目標は2027年度末にCO ₂ 排出量24%削減（対2013年度）です。			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	炭材、燃料ガスの削減	平成25年度（2013年度）の CO2排出量に対して 150,000 t-CO2削減	製銑工程での炭材使用量の低減 炭材廃熱回収設備の改善、能力増強
2	省電力の推進		ポンプ、ブロワの省電力 （回転数制御、容量適正化） 省圧空活動
3	設備高効率化		設備更新時の設備高効率化の推進
4	操業最適化		能率アップによる固定エネルギーロス削減

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	-	-
2	-	-
3	-	-

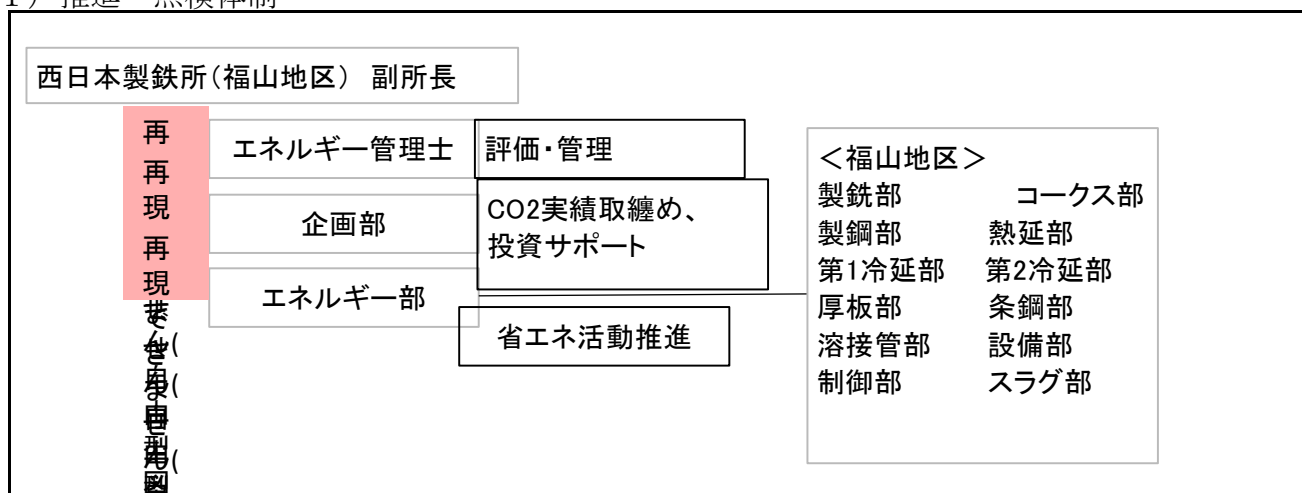
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	数値目標は設定せず	・両面コピー、裏面利用等 ・分別収集及び資源化の徹底
2	自動車使用の合理化	数値目標は設定せず	・オンライン会議を推進し、地区内車両移動の低減
3	-	-	-

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎年、温室効果ガスの排出量を算出するとともに、温室効果ガス削減の取り組み状況について確認し評価する。

(3) 計画書等の公表

事業所内に備え付けて閲覧する。